

金融機関におけるM & A 支援の促進等に関する監督指針改正

背景

- ✓ 円滑な事業承継や企業の成長・生産性の向上等の手段としてM&Aの重要性が増す中、金融機関が、顧客企業に対するコンサルティング機能の更なる強化の一環として、M&A後の事業統合作業（PMI）を含めたM&A支援にもより積極的に取り組むことへの期待が高まっている。
- ✓ また、経営者保証がM&A・事業承継の支障となるという指摘がある。

金融機関におけるM & A 支援の促進

事業者に対するコンサルティング機能の発揮に関して、以下の事項に係る金融機関の監督上の着眼点を明確化

- ✓ 事業者のニーズを十分に踏まえながら、PMIを含むM&A支援に積極的に取り組むこと
- ✓ また、そのための専門人材の育成・確保を含む健全かつ適切な業務運営体制の整備を図ること

M&A・事業承継における支障（経営者保証）を見直す枠組み

主たる株主等が変更になることを金融機関が把握した場合において、どうすれば経営者保証の解除の可能性が高まるか等の説明を事業者にすることを金融機関に求める